○　道路交通

1.　交通機関別輸送量の推移

(1) 国内貨物輸送量

①輸送トンキロ（輸送分担率）

（単位：億トンキロ(%)）

年　度	総輸送量		J R		民　鉄		自 動 車		内航海運		国内航空	
昭和 62	3,982	(100)	200	(5.0)	4	(0.1)	1,758	(44.1)	2,014	(50.6)	6	(0.2)
63	4,279	(100)	230	(5.4)	4	(0.1)	1,912	(44.7)	2,126	(49.7)	7	(0.2)
平成元	4,505	(100)	247	(5.5)	5	(0.1)	2,044	(45.4)	2,201	(48.9)	8	(0.2)
2	4,864	(100)	267	(5.5)	5	(0.1)	2,139	(44.0)	2,445	(50.3)	8	(0.2)
3	4,985	(100)	267	(5.4)	5	(0.1)	2,223	(44.6)	2,482	(49.8)	8	(0.2)
4	4,964	(100)	262	(5.3)	4	(0.1)	2,210	(44.5)	2,480	(50.0)	8	(0.2)
5	4,767	(100)	250	(5.2)	4	(0.1)	2,170	(45.5)	2,335	(49.0)	8	(0.2)
6	4,847	(100)	241	(5.0)	4	(0.1)	2,208	(45.6)	2,385	(49.2)	9	(0.2)
7	4,966	(100)	247	(5.0)	4	(0.1)	2,323	(46.8)	2,383	(48.0)	9	(0.2)
8	5,090	(100)	246	(4.8)	4	(0.1)	2,412	(47.4)	2,418	(47.5)	10	(0.2)
9	5,045	(100)	243	(4.8)	3	(0.1)	2,419	(47.9)	2,370	(47.0)	10	(0.2)
10	4,888	(100)	226	(4.6)	3	(0.1)	2,379	(48.7)	2,270	(46.4)	10	(0.2)
11	4,967	(100)	223	(4.5)	3	(0.1)	2,437	(49.1)	2,294	(46.2)	10	(0.2)
12	5,136	(100)	219	(4.3)	3	(0.1)	2,486	(48.4)	2,417	(47.1)	11	(0.2)
13	5,167	(100)	219	(4.2)	3	(0.1)	2,490	(48.2)	2,445	(47.3)	10	(0.2)
14	5,076	(100)	219	(4.3)	3	(0.1)	2,488	(49.0)	2,356	(46.4)	10	(0.2)
15	4,989	(100)	226	(4.5)	2	(0.0)	2,569	(51.5)	2,182	(43.7)	10	(0.2)
16	5,043	(100)	223	(4.4)	2	(0.0)	2,619	(51.9)	2,188	(43.4)	11	(0.2)
17	5,034	(100)	226	(4.5)	2	(0.0)	2,679	(53.2)	2,116	(42.0)	11	(0.2)
18	5,097	(100)	230	(4.5)	2	(0.0)	2,776	(54.5)	2,078	(40.8)	11	(0.2)
19	5,114	(100)	231	(4.5)	2	(0.0)	2,840	(55.5)	2,030	(39.7)	11	(0.2)
20	4,890	(100)	221	(4.5)	2	(0.0)	2,777	(56.8)	1,879	(38.4)	11	(0.2)
21	4,573	(100)	204	(4.5)	2	(0.0)	2,684	(58.7)	1,673	(36.6)	10	(0.2)
22	4,894	(100)	202	(4.1)	2	(0.0)	2,881	(58.9)	1,799	(36.8)	10	(0.2)
23	4,697	(100)	200	(4.3)			2,738	(58.3)	1,749	(37.2)	10	(0.2)
24	4,480	(100)	205	(4.6)			2,487	(55.5)	1,778	(39.7)	10	(0.2)
25	4,606	(100)	211	(4.6)			2,536	(55.1)	1,849	(40.1)	10	(0.2)
26	4,539	(100)	210	(4.6)			2,487	(54.8)	1,831	(40.3)	11	(0.2)
27	4,449	(100)	215	(4.8)			2,419	(54.4)	1,804	(40.5)	11	(0.2)
28	4,515	(100)	213	(4.7)			2,487	(55.1)	1,804	(40.0)	11	(0.2)
29	4,532	(100)	217	(4.8)			2,495	(55.1)	1,809	(39.9)	11	(0.2)
30	4,485	(100)	194	(4.3)			2,490	(55.5)	1,791	(39.9)	10	(0.2)
令和元	4,437	(100)	200	(4.5)			2,531	(57.0)	1,697	(38.2)	9	(0.2)
2	3,876	(100)	183	(4.7)			2,149	(55.4)	1,538	(39.7)	6	(0.2)
3	4,059	(100)	180	(4.4)			2,255	(55.6)	1,618	(39.9)	6	(0.1)
4	4,098	(100)	180	(4.4)			2,284	(55.7)	1,627	(39.7)	7	(0.2)
5	4,031	(100)	178	(4.4)			2,307	(57.2)	1,540	(38.2)	6	(0.1)
6	4,048	(100)	179	(4.4)			2,331	(57.6)	1,531	(37.8)	7	(0.2)

注）1. 国土交通省「自動車輸送統計調査」,「鉄道輸送統計調査」,「内航船舶輸送統計調査」,「航空輸送統計調査」による。
2. 昭和61年度のJRは旧国鉄である。
3. 昭和62年度より，自動車には軽自動車を加えたので，昭和61年度と連続しない。
4. 平成６年度の自動車の数値には，平成７年１月～３月の兵庫県の数値は含まない。
5. 鉄道は有賃のみ。
6. 国内航空（定期のみ）の輸送量には，超過手荷物，郵便物を含む。
7. 平成22年度より，自動車輸送統計調査の調査方法及び集計方法が変更されたため，平成21年度以前の数値とは連続性が担保されていないことから，自動車の数値は時系列上の連続性を担保するため接続係数により令和元年度以前の旧統計数値を遡及改訂のうえ算出している。また，自家用貨物軽自動車は調査から除外されたため，推計値を用いている。
8. 自動車の数値には，東日本大震災の影響により北海道運輸局及び東北運輸局管内の平成23年３月，４月の数値を含まない。
9. 令和２年度より,自動車輸送統計調査の貨物営業用自動車の調査方法及び集計方法が変更されたため，令和元年度以前の数値とは連続性が担保されていないことから，自動車の数値は時系列上の連続性を担保するため接続係数により令和元年度以前の旧統計数値を遡及改訂のうえ算出している。

②輸送トン数（輸送分担率）

（単位：百万トン(%)）

年　度	総輸送量	J　　R	民　　鉄	自 動 車	内航海運	国内航空
昭和 62	5,420 (100)	55 (1.0)	27 (0.5)	4,874 (89.9)	463 (8.5)	1 (0.0)
63	5,798 (100)	56 (1.0)	27 (0.5)	5,221 (90.0)	493 (8.5)	1 (0.0)
平成元	6,134 (100)	56 (0.9)	27 (0.4)	5,512 (89.9)	538 (8.8)	1 (0.0)
2	6,415 (100)	58 (0.9)	28 (0.4)	5,753 (89.7)	575 (9.0)	1 (0.0)
3	6,608 (100)	57 (0.9)	28 (0.4)	5,950 (90.0)	572 (8.7)	1 (0.0)
4	6,425 (100)	56 (0.9)	27 (0.4)	5,801 (90.3)	540 (8.4)	1 (0.0)
5	6,164 (100)	53 (0.9)	26 (0.4)	5,555 (90.1)	529 (8.6)	1 (0.0)
6	6,190 (100)	53 (0.9)	26 (0.4)	5,554 (89.7)	556 (9.0)	1 (0.0)
7	6,388 (100)	51 (0.8)	25 (0.4)	5,762 (90.2)	549 (8.6)	1 (0.0)
8	6,551 (100)	49 (0.7)	24 (0.4)	5,930 (90.5)	547 (8.3)	1 (0.0)
9	6,445 (100)	47 (0.7)	22 (0.3)	5,834 (90.5)	541 (8.4)	1 (0.0)
10	6,198 (100)	41 (0.7)	20 (0.3)	5,619 (90.7)	517 (8.3)	1 (0.0)
11	6,274 (100)	39 (0.6)	20 (0.3)	5,691 (90.7)	523 (8.3)	1 (0.0)
12	6,219 (100)	40 (0.6)	20 (0.3)	5,621 (90.4)	537 (8.6)	1 (0.0)
13	6,024 (100)	39 (0.6)	20 (0.3)	5,444 (90.4)	520 (8.6)	1 (0.0)
14	5,782 (100)	38 (0.7)	18 (0.3)	5,228 (90.4)	497 (8.6)	1 (0.0)
15	5,642 (100)	38 (0.7)	16 (0.3)	5,141 (91.1)	446 (7.9)	1 (0.0)
16	5,501 (100)	37 (0.7)	15 (0.3)	5,008 (91.0)	440 (8.0)	1 (0.0)
17	5,393 (100)	37 (0.7)	16 (0.3)	4,913 (91.1)	426 (7.9)	1 (0.0)
18	5,398 (100)	36 (0.7)	16 (0.3)	4,928 (91.3)	417 (7.7)	1 (0.0)
19	5,364 (100)	36 (0.7)	15 (0.3)	4,902 (91.4)	410 (7.6)	1 (0.0)
20	5,122 (100)	33 (0.6)	13 (0.3)	4,696 (91.7)	379 (7.4)	1 (0.0)
21	4,814 (100)	31 (0.6)	12 (0.2)	4,438 (92.2)	332 (6.9)	1 (0.0)
22	4,803 (100)	31 (0.6)	13 (0.3)	4,391 (91.4)	367 (7.6)	1 (0.0)
23	4,802 (100)	40 (0.8)		4,400 (91.6)	361 (7.5)	1 (0.0)
24	4,700 (100)	42 (0.9)		4,291 (91.3)	366 (7.8)	1 (0.0)
25	4,702 (100)	44 (0.9)		4,279 (91.0)	378 (8.0)	1 (0.0)
26	4,664 (100)	43 (0.9)		4,251 (91.1)	369 (7.9)	1 (0.0)
27	4,632 (100)	43 (0.9)		4,223 (91.2)	365 (7.9)	1 (0.0)
28	4,711 (100)	44 (0.9)		4,302 (91.3)	364 (7.7)	1 (0.0)
29	4,707 (100)	45 (1.0)		4,301 (91.4)	360 (7.6)	1 (0.0)
30	4,643 (100)	42 (0.9)		4,246 (91.4)	354 (7.6)	1 (0.0)
令和元	4,623 (100)	43 (0.9)		4,238 (91.7)	341 (7.4)	1 (0.0)
2	4,246 (100)	39 (0.9)		3,900 (91.9)	306 (7.2)	1 (0.0)
3	4,360 (100)	39 (0.9)		3,995 (91.6)	325 (7.5)	1 (0.0)
4	4,295 (100)	38 (0.9)		3,935 (91.6)	321 (7.5)	1 (0.0)
5	4,233 (100)	38 (0.9)		3,890 (91.9)	304 (7.2)	1 (0.0)
6	4,174 (100)	38 (0.9)		3,832 (91.8)	303 (7.3)	1 (0.0)

注）1. 国土交通省「自動車輸送統計調査」,「鉄道輸送統計調査」,「内航船舶輸送統計調査」,「航空輸送統計調査」による。
2. 昭和61年度のJRは旧国鉄である。
3. 昭和62年度より，自動車には軽自動車を加えたので，昭和61年度と連続しない。
4. 平成６年度の自動車の数値には，平成７年１月～３月の兵庫県の数値は含まない。
5. 鉄道は有賃のみ。
6. 国内航空（定期のみ）の輸送量には，超過手荷物，郵便物を含む。
7. 平成22年度より，自動車輸送統計調査の調査方法及び集計方法が変更されたため，平成21年度以前の数値とは連続性が担保されていないことから，自動車の数値は時系列上の連続性を担保するため接続係数により令和元年度以前の旧統計数値を遡及改訂のうえ算出している。またなお，自家用貨物軽自動車は調査から除外されたため，推計値を用いている。
8. 自動車の数値には，東日本大震災の影響により北海道運輸局及び東北運輸局管内の平成23年３月，４月の数値を含まない。
9. 令和２年度より，自動車輸送統計調査の貨物営業用自動車の調査方法及び集計方法が変更されたため，令和元年度以前の数値とは連続性が担保されていないことから，自動車の数値は時系列上の連続性を担保するため接続係数により令和元年度以前の旧統計数値を遡及改訂のうえ算出している。

(2)国内旅客輸送量

①輸送人キロ(輸送分担率)

(単位:億人キロ(%))

年　度	総輸送量	J　R	民　鉄	バ　ス	乗用車	自家用貨物車	旅客船	国内航空
昭和 62	10,901 (100)	2,047 (18.5)	1,401 (12.6)	1,029 (9.3)	4,557 (41.1)	1,596 (14.4)	62 (0.6)	385 (3.5)
63	11,716 (100)	2,176 (18.3)	1,442 (12.1)	1,072 (9.0)	5,011 (42.1)	1,734 (14.6)	57 (0.5)	411 (3.5)
平成元	12,476 (100)	2,227 (17.6)	1,461 (11.5)	1,091 (8.6)	5,557 (43.9)	1,800 (14.2)	60 (0.5)	471 (3.7)
2	12,766 (100)	2,377 (18.3)	1,498 (11.5)	1,104 (8.5)	5,752 (44.3)	1,672 (12.9)	63 (0.5)	516 (4.0)
3	13,088 (100)	2,470 (18.6)	1,531 (11.5)	1,082 (8.1)	5,952 (44.7)	1,656 (12.4)	62 (0.5)	553 (4.2)
4	13,313 (100)	2,496 (18.4)	1,527 (11.3)	1,066 (7.9)	6,172 (45.6)	1,641 (12.1)	61 (0.5)	567 (4.2)
5	13,340 (100)	2,500 (18.4)	1,527 (11.3)	1,029 (7.6)	6,267 (46.2)	1,600 (11.8)	61 (0.5)	571 (4.2)
6	13,390 (100)	2,444 (18.0)	1,520 (11.2)	998 (7.3)	6,401 (47.1)	1,566 (11.5)	59 (0.4)	613 (4.5)
7	13,669 (100)	2,490 (17.9)	1,511 (10.9)	973 (7.0)	6,643 (47.9)	1,555 (11.2)	56 (0.4)	650 (4.7)
8	13,875 (100)	2,517 (17.9)	1,504 (10.7)	949 (6.7)	6,839 (48.6)	1,527 (10.8)	56 (0.4)	690 (4.9)
9	13,983 (100)	2,477 (17.5)	1,476 (10.4)	929 (6.5)	7,039 (49.6)	1,479 (10.4)	54 (0.4)	732 (5.2)
10	14,046 (100)	2,428 (17.0)	1,461 (10.3)	904 (6.4)	7,235 (50.8)	1,406 (9.9)	46 (0.3)	760 (5.3)
11	14,058 (100)	2,408 (16.9)	1,443 (10.1)	887 (6.2)	7,332 (51.5)	1,334 (9.4)	45 (0.3)	793 (5.6)
12	14,025 (100)	2,407 (17.0)	1,438 (10.1)	873 (6.2)	7,409 (52.2)	1,228 (8.7)	43 (0.3)	797 (5.6)
13	14,088 (100)	2,411 (16.9)	1,443 (10.1)	864 (6.1)	7,523 (52.8)	1,154 (8.1)	40 (0.3)	815 (5.7)
14	14,094 (100)	2,392 (16.8)	1,430 (10.0)	862 (6.0)	7,564 (53.1)	1,126 (7.9)	39 (0.3)	839 (5.9)
15	14,105 (100)	2,412 (16.9)	1,438 (10.1)	864 (6.1)	7,548 (52.9)	1,127 (7.9)	40 (0.3)	833 (5.8)
16	14,032 (100)	2,420 (17.1)	1,432 (10.1)	863 (6.1)	7,503 (52.9)	1,108 (7.8)	39 (0.3)	818 (5.8)
17	13,967 (100)	2,460 (17.4)	1,452 (10.3)	881 (6.2)	7,374 (52.3)	1,073 (7.6)	40 (0.3)	832 (5.9)
18	13,889 (100)	2,490 (17.7)	1,469 (10.5)	887 (6.3)	7,236 (51.6)	1,054 (7.5)	38 (0.3)	857 (6.1)
19	13,983 (100)	2,552 (18.1)	1,503 (10.6)	890 (6.3)	7,244 (51.3)	1,055 (7.5)	38 (0.3)	843 (6.0)
20	13,811 (100)	2,536 (18.2)	1,510 (10.8)	899 (6.4)	7,129 (51.1)	1,028 (7.4)	35 (0.3)	809 (5.8)
21	13,577 (100)	2,442 (17.8)	1,497 (10.9)	874 (6.4)	7,115 (51.9)	996 (7.3)	31 (0.2)	752 (5.5)
22	5,492 (100)	2,446 (44.5)	1,489 (27.1)	712 (13.0)	77 (1.4)	… …	30 (0.5)	738 (13.4)
23	5,410 (100)	2,469 (45.6)	1,481 (27.4)	646 (11.9)	72 (1.3)	… …	30 (0.6)	712 (13.2)
24	5,592 (100)	2,538 (45.4)	1,506 (26.9)	666 (11.9)	72 (1.3)	… …	31 (0.6)	779 (13.9)
25	5,745 (100)	2,600 (45.3)	1,544 (26.9)	658 (11.4)	70 (1.2)	… …	32 (0.6)	841 (14.6)
26	5,739 (100)	2,601 (45.3)	1,539 (26.8)	632 (11.0)	69 (1.2)	… …	30 (0.5)	868 (15.1)
27	5,858 (100)	2,694 (46.0)	1,581 (27.0)	605 (10.3)	65 (1.1)	… …	31 (0.5)	882 (15.1)
28	5,928 (100)	2,720 (45.9)	1,598 (27.0)	608 (10.3)	64 (1.1)	… …	33 (0.6)	905 (15.3)
29	6,012 (100)	2,751 (45.8)	1,622 (27.0)	600 (10.0)	63 (1.0)	… …	32 (0.5)	944 (15.7)
30	6,060 (100)	2,777 (45.8)	1,639 (27.0)	588 (9.7)	60 (1.0)	… …	34 (0.6)	962 (15.9)
令和元	5,939 (100)	2,719 (45.8)	1,631 (27.5)	558 (9.4)	55 (0.9)	… …	31 (0.5)	945 (15.9)
2	3,217 (100)	1,521 (47.3)	1,111 (34.5)	225 (7.0)	30 (0.9)	… …	15 (0.5)	315 (9.8)

年　度	総輸送量	Ｊ　Ｒ	民　鉄	バ　ス	乗用車	自家用貨物車	旅客船	国内航空
令和３	3,686（100）	1,702（46.2）	1,197（32.5）	270（7.3）	32（0.9）	…　…	18（0.5）	467（12.7）
4	4,860（100）	2,175（44.8）	1,353（27.8）	401（8.3）	41（0.8）	…　…	26（0.5）	864（17.8）
5	5,498（100）	2,483（45.2）	1,454（26.4）	494（9.0）	45（0.8）	…　…	29（0.5）	994（18.1）
6	5,732（100）	2,571（44.9）	1,500（26.2）	577（10.1）	50（0.9）	…　…	…　…	1,034（18.0）

注）1. 国土交通省「自動車輸送統計調査」,「鉄道輸送統計調査」,「海事レポート」,「航空輸送統計調査」による。
2. 昭和61年度のJRは旧国鉄である。
3. 昭和62年度以降のJRの数値には，JR各社間の重複等があり，昭和61年度と連続しない。
4. 昭和62年度より，自動車には軽自動車を加えたので，昭和61年度と連続しない。
5. 平成６年度の自動車の数値には，平成７年１月～３月の兵庫県（営業用バス等を除く）の数値を含まない。
6. 旅客船の輸送量については，定期と不定期をあわせたものである。
7. 国内航空は定期便のみの数値である。
8. 平成22年度より，自動車輸送統計調査の調査方法及び集計方法が変更されたため，平成21年度以前の数値とは連続性が担保されていないことから，自動車の数値は時系列上の連続性を担保するため接続係数により令和元年度以前の旧統計数値を遡及改訂のうえ算出している。またなお，自家用貨物軽自動車は調査から除外されたため，推計値を用いている。自家用貨物自動車及び自家用旅客車が除外された。また，乗用車の数値には，東日本大震災の影響により北海道運輸局及び東北運輸局管内の平成23年３月，４月の数値を含まない。
9. 令和２年度より，自動車輸送統計調査の旅客営業用自動車（バス）の調査方法及び集計方法を変更されたため，平成22年度～令和元年度以前の輸送人キロについて,公表値とは時系列上の連続性が担保されていないことから,時系列上の連続性を担保するため旧統計の標本を新統計の集計方法過去に遡り推計を行い，算出している。
10. 令和６年度の旅客船の輸送量は令和８年６月時点で公表されていない

②輸送人員（輸送分担率）

（単位：百万人(%)）

年　度	総輸送量	Ｊ　Ｒ	民　鉄	バ　ス	乗用車	自家用貨物車	旅客船	国内航空
昭和 62	69,285（100）	7,356（10.7）	12,616（18.4）	8,470（12.3）	30,312（44.1）	10,316（14.2）	165（0.2）	50（0.1）
63	73,103（100）	7,761（10.7）	12,981（17.9）	8,538（11.8）	32,569（44.9）	11,044（14.4）	157（0.2）	53（0.1）
平成元	77,194（100）	7,980（10.4）	13,231（17.3）	8,572（11.2）	35,432（46.3）	11,759（14.6）	160（0.2）	60（0.1）
2	77,870（100）	8,358（10.8）	13,581（17.6）	8,558（11.1）	36,139（46.8）	11,006（13.5）	163（0.2）	65（0.1）
3	80,283（100）	8,676（10.9）	13,884（17.4）	8,582（10.8）	37,675（47.3）	11,236（13.4）	162（0.2）	69（0.1）
4	81,702（100）	8,818（10.9）	13,876（17.1）	8,445（10.4）	39,135（48.2）	11,201（13.1）	158（0.2）	70（0.1）
5	82,212（100）	8,906（10.9）	13,853（17.0）	8,225（10.1）	40,062（49.1）	10,939（12.7）	157（0.2）	70（0.1）
6	82,702（100）	8,884（10.8）	13,714（16.7）	7,836（ 9.5）	41,412（50.4）	10,630（12.3）	151（0.2）	75（0.1）
7	84,073（100）	8,982（10.8）	13,648（16.3）	7,619（ 9.1）	43,000（51.5）	10,598（12.1）	149（0.2）	78（0.1）
8	84,312（100）	8,997（10.7）	13,596（16.2）	7,492（ 8.9）	43,682（52.1）	10,315（11.7）	148（0.2）	82（0.1）
9	84,624（100）	8,859（10.5）	13,386（15.9）	7,351（ 8.7）	45,065（53.6）	9,732（11.0）	145（0.2）	86（0.1）
10	84,018（100）	8,764（10.5）	13,249（15.9）	7,047（ 8.4）	45,722（54.7）	9,020（10.2）	128（0.2）	88（0.1）
11	83,961（100）	8,718（10.4）	13,033（15.6）	6,864（ 8.2）	46,464（55.6）	8,670（ 9.9）	120（0.1）	92（0.1）
12	84,643（100）	8,671（10.3）	12,976（15.4）	6,635（ 7.9）	47,888（56.9）	8,269（ 9.3）	110（0.1）	93（0.1）
13	86,469（100）	8,650（10.1）	13,070（15.2）	6,490（ 7.5）	49,959（58.1）	8,094（ 8.9）	111（0.1）	95（0.1）

年　度	総輸送量	Ｊ　Ｒ	民 鉄	バ ス	乗用車	自家用貨物車	旅客船	国内航空
平成 14	87,200 (100)	8,585 (9.9)	12,976 (15.0)	6,286 (7.2)	51,221 (59.0)	7,926 (8.7)	109 (0.1)	97 (0.1)
15	87,846 (100)	8,642 (9.9)	13,116 (15.0)	6,191 (7.1)	51,754 (59.2)	7,940 (8.6)	107 (0.1)	95 (0.1)
16	87,827 (100)	8,618 (9.9)	13,068 (14.9)	5,995 (6.9)	52,266 (59.8)	7,684 (8.4)	101 (0.1)	94 (0.1)
17	88,062 (100)	8,683 (9.9)	13,280 (15.1)	5,889 (6.7)	52,678 (60.1)	7,336 (8.0)	103 (0.1)	94 (0.1)
18	88,338 (100)	8,778 (10.0)	13,465 (15.3)	5,909 (6.7)	52,721 (59.9)	7,269 (7.9)	99 (0.1)	97 (0.1)
19	89,903 (100)	8,988 (10.0)	13,853 (15.5)	5,963 (6.7)	53,687 (59.9)	7,216 (7.7)	101 (0.1)	95 (0.1)
20	89,900 (100)	8,984 (10.0)	13,992 (15.6)	5,930 (6.6)	53,786 (60.0)	7,018 (7.5)	99 (0.1)	91 (0.1)
21	89,462 (100)	8,841 (9.9)	13,884 (15.6)	5,733 (6.4)	54,133 (60.7)	6,694 (7.2)	92 (0.1)	84 (0.1)
22	29,077 (100)	8,818 (30.3)	13,851 (47.6)	4,458 (15.3)	1,783 (6.1)	… …	85 (0.3)	82 (0.3)
23	28,869 (100)	8,837 (30.6)	13,795 (47.8)	4,414 (15.3)	1,660 (5.8)	… …	84 (0.3)	79 (0.3)
24	29,292 (100)	8,963 (30.6)	14,079 (48.1)	4,437 (15.1)	1,640 (5.6)	… …	87 (0.3)	86 (0.3)
25	29,939 (100)	9,147 (30.6)	14,459 (48.3)	4,505 (15.0)	1,648 (5.5)	… …	88 (0.3)	92 (0.3)
26	29,837 (100)	9,088 (30.5)	14,511 (48.6)	4,499 (15.1)	1,557 (5.2)	… …	86 (0.3)	95 (0.3)
27	30,506 (100)	9,309 (30.5)	14,982 (49.1)	4,565 (15.0)	1,466 (4.8)	… …	88 (0.3)	96 (0.3)
28	30,819 (100)	9,392 (30.5)	15,206 (49.3)	4,583 (14.9)	1,452 (4.7)	… …	88 (0.3)	98 (0.3)
29	31,248 (100)	9,488 (30.4)	15,485 (49.6)	4,640 (14.8)	1,445 (4.6)	… …	88 (0.3)	102 (0.3)
30	31,499 (100)	9,556 (30.3)	15,714 (49.9)	4,646 (14.7)	1,391 (4.4)	… …	88 (0.3)	104 (0.3)
令和元	31,172 (100)	9,503 (30.5)	15,687 (50.3)	4,532 (14.5)	1,268 (4.1)	… …	80 (0.3)	102 (0.3)
2	21,749 (100)	6,707 (30.8)	10,963 (50.4)	3,262 (15.0)	738 (3.4)	… …	45 (0.2)	34 (0.2)
3	23,174 (100)	7,061 (30.5)	11,744 (50.7)	3,467 (15.0)	803 (3.5)	… …	49 (0.2)	50 (0.2)
4	25,991 (100)	7,885 (30.3)	13,169 (50.7)	3,815 (14.7)	968 (3.7)	… …	63 (0.2)	91 (0.4)
5	27,802 (100)	8,433 (30.23)	14,181 (51.0)	4,015 (14.4)	994 (3.6)	… …	74 (0.3)	104 (0.4)
6	28,572 (100)	8,673 (30.4)	14,705 (51.5)	4,035 (14.1)	1,051 (3.7)	… …	… …	109 (0.4)

注）1. 国土交通省「自動車輸送統計調査」,「鉄道輸送統計調査」,「海事レポート」,「航空輸送統計調査」による。
2. 昭和61年度のJRは旧国鉄である。
3. 昭和62年度以降のJRの数値には，JR各社間の重複等があり，昭和61年度と連続しない。
4. 昭和62年度より，自動車には軽自動車を加えたので，昭和61年度と連続しない。
5. 平成６年度の自動車の数値には，平成７年１月～３月の兵庫県（営業用バス等を除く）の数値を含まない。
6. 旅客船の輸送量については，定期と不定期をあわせたものである。
7. 国内航空は定期便のみの数値である。
8. 平成22年度より，自動車輸送統計調査の調査方法及び集計方法が変更されたため，平成21年度以前の数値とは連続性が担保されていないことから，自動車の数値は時系列上の連続性を担保するため接続係数により令和元年度以前の旧統計数値を遡及改訂のうえ算出している。またなお，自家用貨物軽自動車は調査から除外されたため，推計値を用いている。自家用貨物自動車及び自家用旅客車が除外された。また，乗用車の数値には，東日本大震災の影響により北海道運輸局及び東北運輸局管内の平成23年３月，４月の数値を含まない。
9. 令和６年度の旅客船の輸送量は令和８年６月時点で公表されていない。